

そよかぜ 5月園便り

令和5年5月1日（月）

西東京市立そよかぜ保育園

新年度から1ヶ月。

新入園児の子どもたちもずいぶん園生活に慣れてきて、泥んこ遊びに遠出の散歩、こいのぼり作り...そして野菜たっぷりの食事。初めての経験もいっぱいある中、楽しんで登園してくれる姿が多くなってきました。また連休に入るので、休み明けはちょっぴり4月当初に戻ってしまうかもしれませんが、どうかご心配なく！これからも子どもたちのドキドキワクワクが溢れる、楽しい毎日をご過ごしていきたいと思っております。

5月はまず「子どもの日の会」でドキドキワクワクを思う存分味わいます。

プールに鯉を放って、幼児クラスは自分の手でつかみ取り、つかまえた鯉は武田理事長が華麗な手つきでさばいて、調理さんに「から揚げ」にしてもらい美味しくいただきます。

武田理事長が法人四園すべてを周ってさばいてくださるので、今回そよかぜの実施は5月11日となります。

そよかぜ保育園が大切にしている「本物に触れること」...鯉が元気に泳ぐ姿を目の当たりにし、つかまえた時の触感・重さなど体感することで力強い鯉の生命力を感じる。そして私たちの食事は「命をいただいている」ということを知る 食事をする時の挨拶は「いただきます」(命をいただく)・「ごちそうさまでした」(命をありがとう) という意味があるのだということ実感するなど、食育に繋がっています。

さあ、今年はどうな勇姿が見られるのでしょうか。楽しみです！

5月の行事

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
			憲法記念日	みどりの日	こどもの日	
7	8	9	10	11	12	13
				こどもの日の会		
14	15	16	17	18	19	20
	5才みどり交流		布団乾燥	栗本さん来園	5才四園交流	
21	22	23	24	25	26	27
		誕生会 避難訓練		内科健診		
28	29	30	31			
		耳鼻科健診				

※・5/18『栗本さん来園』：“からだ指導室あんじん”の栗本さんが来園し、子どもたちと体育遊びします。

・5/19『5才四園交流』：同法人の“羽村たつの子保育園”“羽村しらうめ保育園”“みどり保育園”のお友達と広場でリズム遊びやかけっこなどをして一緒に遊びます。

HPのお知らせ

▼ 保護者閲覧用写真パスワード入力方法について

定期的に保育園での様子を HP にて公開しております。※期間限定パスワード制限での閲覧各クラス担任からお知らせした期間、

HP内『在園児の保護者の皆様へ』→『アルバムを見る』→『〇歳児』をクリック。その後、お伝え

したパスワードを入力するとご覧になります。

※期間終了後、再度閲覧期間を設けることが出来かねますのでご注意ください



アルバム



<https://soyokaze-hoikuen.net/>



カテゴリー
お散歩
そよかぜの保育園
ほいほい作品展
やらべうた
リズム
レシド
保育
在園児の保護者へ
園
情報
作品展
生活
行事

▼ 毎週金曜日更新 Blog について

毎週、“園行事”や“お散歩に行っている公園の紹介”などを Blog にて行っています。PC やタブレットでご覧の場合はカテゴリーが見やすくなっております。

行事

お散歩



プールに放たれた鯉 の 物語

ソーっと手を伸ばして触ろうとする子ども達の気配を感じてか、真ん中に寄り集まって悠然と泳ぐ鯉。

バシャ！ バシャ！ 水をはねながら 鯉と格闘。スルスルと抜けていた鯉たちも、次第に元気な子ども達に捕まえられるようになり 大歓声の渦となりました。

まな板の上にのせられた鯉を見るや「まぐろだー」（??さっきあなたたちが触っていたのだけどなー）

固唾をのみながら見守る子ども達。
 鱗を剥ぎ、はらわたを取り出すうちに まな板や包丁は真っ赤。 「痛そう！！」
 これは 浮袋 これは心臓 これは尾びれ 鯉の骨は硬いんだね 「まだ動いている！！」

唐揚げになった鯉は その日の給食で美味しく頂きました。

こども

批判ばかりされた こどもは
 非難することを おぼえる

賞賛をうけた こどもは
 評価することを おぼえる

殴られて大きくなった こどもは
 力にたよることを おぼえる

フェアプレーを経験した こどもは
 公正を おぼえる

笑いものにされた こどもは
 ものをいわずにいることを おぼえる

友情を知る こどもは
 親切を おぼえる

皮肉にさらされた こどもは
 鈍い良心の 持ち主になる

安心を経験した こどもは
 信頼を おぼえる

しかし 激励を受けた こどもは
 自信を おぼえる

可愛がられ 抱きしめられた こどもは
 世界中の愛情を感じ取ることを覚える

寛容に 出あった こどもは
 忍耐を おぼえる

『あなた自身の社会 スウェーデンの中学教科書』より
 スウェーデンでは中学2年で学ぶそうです。

職員のつぶやき

4月から保育士1年目、0歳児クラスの担任になり1か月が経ちます。

全く経験のない0歳児では毎日が刺激的で起こること一つ一つが学びとなっています。そして、そんな毎日の中で感じたことはバスケットボールのようであるということです。私は小中高とバスケットボールをやってきました。プレイヤーとマネージャーの両方を経験し、感じたことは、一人一人とのコミュニケーションの大切さと、どれだけ周りを見て動けるかが重要であるということです。試合はもちろん、同じ練習をしていてもその日のコンディションによって変わってきます。まったく同じような日はないからこそ、毎日起きる一つ一つの学びをひたすらに吸収し、次につなげていく必要があります。それは保育でもバスケでも同じであると感じ、今の自分はまだ全然できないことのほうが多いです。不甲斐なきを感じることもありますが、子どもたちの成長を見られる喜びを感じながら、とことん子どもたちと向き合おうと思います。

そよかぜ保育園 川原杏梨